



## subroom network

もし家を借りる時、もれなくもうひと部屋余分に付属してきたり、あなたはどう使いますか？

subroom network は、余分なひと部屋を SNS で共有する仕組み。

ひとつのマンションの所有が、都市の所有へと拡張していく。

### scenario\_0

contract "subroom network"

僕は最近話題の subroom network (以下 sn) 対応マンションに契約することを決めた。sn 対応のマンションに契約すれば、都市に点在する他の sn 対応マンションの subroom を利用することができるという。subroom は原則ひとつの物件に対してひとつ付属する文字通り "予備の部屋" だ。それはまさに日本古来の "はなれ" のような存在に思えた。管理は基本的にその住人が行い、sn 対応マンションの所有者は契約後 sn 会員となることで、SNS を介して必要なときに近くの sn を利用することができるという。早速僕も、sn 会員に登録してみた。

### scenario\_1

【ex.1】near SAPPORO STATION

今日は仕事で残業して終電を逃してしまった。自宅は札幌ドームのすぐ近くなので、ここからタクシーを呼んで帰るのは、新人の僕には少し懐が痛い。職場は札幌駅のすぐ側なので、このあたりで朝まで仮眠を取れたらいいんだけど…そこで僕は sn を使ってみることにした。スマートフォンで SNS を開く。GPS 機能を使えばすぐに最寄りの sn が見つかった。事前に連絡を取って訪問すると、40代くらいの一人暮らしのサラリーマンが出てきた。彼は単身赴任らしい。sn のおかげで札幌の人とも随分親しくなれたという。

### scenario\_2

【ex.2】near SUSUKINO

今日は古い友人と飲みに行った。会話が盛り上がってつい時間が経つのを忘れてしまい、またも終電を逃してしまった。ここはすすきのの近くだから、この辺に sn はないかな？ 検索をかけるとすぐにそれは見つかった。玄関を開けると、出てきたのは優しそうな老夫婦だった。二人は老後の楽しみとして、sn をはじめたらしい。新しい仕組みに最初は戸惑いもあったが、訪問しててくれる人はみな SNS を介しているので信頼できるし、なにより親切にしてくれるという。僕も家事を手伝ってあげた。

### scenario\_3

【ex.3】near SAPPORO DOME

今日は札幌ドームでサッカー日本代表戦がある。札幌ドームは自宅から歩いて 5 分のところにあるので、大きな試合があるときはその熱気がここまで伝わってくるほどだ。今日も友人たちが応援に遊びに来ている。試合後、ふとスマートフォンを見ると新規メッセージが届いている。sn の使用依頼だ。—「私は sn 会員 10569 の者です。先ほどまで札幌ドームで試合観戦をしていたのですが、まだ余韻に浸っていても、もしよろしければ一緒に祝杯をあげませんか？あなたのプロフィールにサッカーが好きだと書いてあったもので連絡しました。」—興奮冷めやらぬ僕らは、もちろん二つ返事で OK した。その夜は楽しい宴となった。